

刊夕 日四廿月三

常磐每日新聞

定価 一部全額一円 五折郵券五折
廣告料五折十二字第一行金五折
日曜 祭日の日 休刊
発行所 常磐毎日新聞社
印刷所 常磐毎日印刷株式会社

人生の嵐

久保木 まさを

秋子は生れ落ちると間もなく、両親に死別して叔父の手一つで育てられて物心つくやうになつて来た。

「ねえ叔父さん、どうしてお母さんや、お父さんが私には無いの」
ある日、叔父に聞くのであつた。叔父の健作は腫物にでも觸られる様な心地がした。

「お前がそんなに聞きたいなら話してもいい、ナア秋子お前が生れてから間もなかつた、お母さんは産後の日立が悪く泣きさげお前を残してとうとう死んで仕舞つたのだ。空腹を訴へて泣くお前を抱へてお父さんは、近所の人達の乳を貰つたり、おねばや、牛乳を吞ましたりしてお前を育てて来たが、とうとう病氣に罹りお前を呼びつづけたが亡くなつてしまつたんだ。それからお前は僕と一緒に暮らす様になつたんだ、考へるとお前が可哀想でならない、だがお秋よ、神様はさつとお前の身を護つて下さるよ、心配するな」
「私のお母さんや、お父さんはもう歸つては来ないのねえ」

しくしくとすすり泣くのみだつた。
「これ秋よ、そう泣いてるではねえ、元氣を出して僕と一緒にいこうや」
秋子をいたわりながら村はづれの田圃に出た。
「秋や取入れが済んだら町に連れてつてやらうな」
幾星霜は流れ流れて、秋子は十八の春を迎へた。
「お前だけが頼りなんだよ」
皺をよせてある健作の顔には苦難の色があり、と見えた。

「叔父さん、いつも苦勞ばかり掛けて、でももう大丈夫よ、これからは私が叔父さんの分まで働いてあげるから遊んでゐるとい、わ」
平和な其の日、を送つてゐた秋子ではあつたが、やはり親のない淋しさは、彼女の胸に一杯に溢れて来るのだつた。其の頃、村の青年や、娘達は花の都に憧れて日ごとに鋤や鍬を捨て、行つた。紡績會社へ、紡績會社へ、女工を目ざして村を離れて行つた。
そして正月になると打揃つて歸つて来るのだつた。美しい着物、美しいコートをお金を持つて……秋子の心は躍つた。
それから幾日かすぎた晩の事、夕餐をしながら「ねえ叔父さん、私女工になつてはいけなからしら」
「女工?……」
健作の顔は急にかたくなつた。
「ナア秋よ、女工になるだけは止めてくれ」
「いけないの……こんなにして、毎日働いて、貧乏してゐるよりは、都會に出で働いた方が餘つ程いいわ、お金はとれるし、着物は着られるし、叔父さんにも美味しいものを澤山食べさせられると思ふわ」
「都に行つた娘達はそう云ふかも知れないが、決して自分で思ふ様には行かない事だ、悪い事は云はないから諦めてくれ……」
「だけど私どうしても都會で働きたいの」
「お前が都に行つて仕舞つたら、僕はどうする、居てくれ、一緒に仲よく働こうよ」
秋子は面をよせてじつと唇をかんでゐた。
「秋よ、お前がそれ程行きたいなら行つてもいいよ、僕はお前が歸つて来る日を待つてゐるからな」
「叔父さん許してくれ」
「あ、行つておいで」
秋子は喜んだ、幸福が手をひろげて待つてゐる様な氣がした。

かまぼこ 製造

お惣菜用 さつま揚 吉原揚

平町一丁目

不凍電

電話一四一番

磐城セメント會社特約店

大倉屋商店

磐城平町五丁目 電話九・九九

- 良品廉賣に勝る商略なし
- 確實敏捷は 〆の生命なり

貴方の御家庭に

お手不足は御座いませんか

本會を御利用下さい

直に家政婦派出します

親切 料金は極めて低廉で
妊産婦の御家庭 お留守 居番
御病人の付添 年寄やお子さんの付添
炊事や 雑用

派出多忙に付會員至急募集

平町紺屋町二(電話二二番)

上原家政婦會

會主 産婆 上原通子

春は歌へ 若人よ!

ハ一モニカと呼べば!
ミヤタと答へ!

廣い野原に
寝そべつて
小鳥と一所に
歌ひませう

ミヤタバンドハ一モニカ特約店

いづみや玩具店

平驛前

南町成田山新榮講

當講主水津秀次郎過般死去の爲め講務の整理中講中集金も閉却致し各位の御心勞を煩はし候處從前通り四月一日參詣團體出發致すべくに付此段御報告申上候

三月十九日

成田山新榮講

一齒科一般 保存科補綴科 繼續架
工科 齒列矯正科 小兒齒科 齒槽膿漏科
一口腔外科 一レントゲン科

中野齒科醫院

平町田町(松月堂向ヒ) 電話五〇九番

院長 日本齒科 中野 惠次
日本齒科 醫學士 西川 誠

産婆看護婦 募集

願書締切 四月五日迄

平町一丁目

平町搔樋小路一番地に新築移轉す

石城産婆學校

電話三五七番

平町各小學校優等受賞者

第一小學校

▼尋一(一組)柴田章夫 赤塚信一 伏見長 佐藤紀 高野和夫 生天目徳治 伊藤利平 村上哲夫 菊地三夫 岡田早苗 柳内巖(二組) 藤田丹 吉成晴保 大和田武夫 武谷川信之 岡井敬夫 長谷川信之 飯塚弘 岡山一之 木秀明 飯塚清夫 岡山一之 佐々木寛 蓮沼清夫 佐々木直也(三組)扇藤俊一 馬目山下勝雄 菅野達雄 馬目修義 小林昌一 田中敏郎 青木昭 永山正己 吉田實山 野邊邦弘 遠藤宗市 永木義一 鈴木良夫 野昭之 鈴木章 長谷川直義 根本榮司 金子益三 豊口皓 宇田哲雄 佐々木健夫 草野信三 青沼健雄 伊東邦夫 高屋謙二(二組) 加藤正明 小川昭三 佐久間高男(二組)國井英吉 飯島賢 渡邊真一 根岸乾雄 堀亮 石川慶一 岩本堅一 小林智年 館野宏 小野弘雄 鈴木利彌 渡邊忠弘 山崎光雄(進歩)小松崎昭二 中野舜一郎 新妻和男(三組)山崎慶一 正木和夫 市原亮三 松本昭 金成芳男 萩原和雄 井幡正 仲島和郎 杉山勇一 林富昭 松本和郎 阿部進 菊地嘉昭(進歩)兒山亘 三浦章 柴田俊夫

(進歩)廣木亨 遠藤保男 松本四郎 川上忠 遠藤好一 大塚勇 齋藤好一 齋藤好一 吉田之衛 齋藤功 飛田常重 小林忠義 齋藤修三(進歩)小田純也 渡邊修三 佐々木修三(二組) 本真平 鈴木重雄 渡邊弘 小齊實 中川圭二 山田俊夫 新妻幸男 西岡亨 吉江一行 小島弘文 關内新一(進歩)若松壽彦 綿引史郎 海老根鐵也(三組) 小松崎富夫 岩崎宏次郎 門馬政衛 諸橋英二 會澤三郎 新妻唯男 根本幸一 郎 眞野富夫 鈴木一郎 半谷英二 永野節 比佐榮 澤徳雄 鈴木良一 比佐榮 村彌實 鈴木芳男 大畑俊 高川眞雄 松本友彌 松本力 渡邊政之 吉田義男 高橋重 玉田定勝 牧野一 義橋本章(進歩)志賀啓佑 館次雄 菊池一雄 大島大 三(二組)菊池一雄 大島大 次木田菊壽 多田井鸞 伊藤木 近藤正二 入江正 義橋 田島秀則 吉田伴五 野博 長谷川賢太郎 長谷川 勝三 草野一之(進歩)門馬 公一 遠藤正 鈴木武 井 葉谷公義 田中忠太郎 柴 澤松榮 佐藤進 新妻常雄 小谷馨夫 柴田健治 篠山 武 遠藤俊太郎(進歩)鈴木 木正雄 鈴木敏雄 西郡國 人(二組)富田正一郎 金成 忠美 江原正太郎 東條正 吉田和佐美 大島桓(進歩) 田中正士 吉田吉造

第二小學校

▼尋一(一組)根本ヨシエ 高木珠世 石川美子 神長 倉公子 下山田方子 小齋 春子 田巻まさ子 谷口壽 子 鈴木辰子(進歩)草野繁子 長谷川友子 稻島トミ(二組) 益弘幸子 服部桂子 安齋 照子 力丸美知子 齋藤英 子 宮川幸子 關原トシ子 浦邊芳子(三組)明智節子 眞木靖子 市原恵子 阿部 眞木靖子 藤田耀子 關内美 子 瓜田けい 菅田久子 大谷清子(進歩)長谷川秀 金子智恵子 佐藤光子 田玉恵 三井正子 阿部比 奈子 増尾幸子 高橋茂子 蛭田伸子 鈴木玲子 永島 ユキ子 桐原純子(進歩)齋 藤潔子 上坂玲子 井坂幸 子(二組)梅森紀子 關内陽 子 渡邊マサ子 大井川喜 代 中根和子 小谷ワカ子 エチ子 草野キ子(進歩) 金子喜代子 青木莫 藤居 美津子(三組)原貴美 高木 和子 吉田昭子 田巻嬌子 小松久子 横山ケイ 石田 カツ子 菊地キミ 志賀壽 子 江川信子(進歩)吉村ト シ子 白土セイ 岡田ノブ子 ▼尋三(一組)草野トシ子 黒木雅子 高野静枝 海野 和子 鈴木悦子 佐藤恵美 子 倉田洋子 磯上橋道子 青木目照子 磯上橋道子 歩)鹽坂幸子 長瀬昌子 坂本雅子(二組)猪狩敏子 海老根京子 山野邊敏子 佐藤玉江 小原喜恵子 山 本タカ子 増子ミネ 庄司 コウ 齋木智恵子 涌井千 枝子(進歩)宮田ツヤ 赤木 照子 高橋君江(三組)花澤 久子 中村里子 佐々木雅 野八重 桑田康子 飛田絹 子 關内喜代子 佐藤文子 (進歩)市原貞子 小谷喜美 子 橋本トシ子

第三小學校

▼尋一(一組)國井辰三 鈴木 中野正二郎 高野 亮二 鈴木隆平 石澤芳己 諸橋廣義 星野忠太郎(進 歩)小野姓廣 鹽田忠男 河田浩(二組)諸橋政良 佐 々木芳弘 吉田實夫 菅野 託典 鈴木七郎 川又常治 加美山四郎 菊地次夫(進 歩)菊地尹雄 鈴木幸男 菅波淳(三組)吉田綾子 三 森貞江 遠藤正子 後藤麗 子 新妻貞子 仁井モト 子 藤原正子 松本節子(四組) 鳴沼アイ子 鈴木光子 鈴 木ミチ 本阿彌秀子 根本 瑠璃子 古市佳子 猪狩セ ツ子 草野節子 遠藤エン 子 諸橋典恵(進歩)吉田カ ツ子 橋本タ子 相澤エン 子 初野正 力丸榮子 小杉 島アサ子 岡田美喜子 小 野寺 小野滋子 小室清子 子(進歩)水山キチ子 高橋文 子(二組)杉山ツ

▼尋一(一組)國分喜代明 江尻光男 菅野光洋 諸橋 英祐 田邊昇 大越啓行 若松英信 吉田良次(進歩) 丹野皓司 高羽博得 瀧口 友人(二組)鈴木健三 鈴木 博士 志賀武夫 横山一郎 牛澤三男 新家武芳 國分 勳 酒井博(進歩)水野隆 永島高伯 岡田三男(三組) 五十嵐由紀子 吉田トシ 古市利子 谷島永子 松崎 マチ 遠藤文子 布施敏子 高木民子(進歩)河田静 津文子 小池光三 丹野幸 森孝子 鯨岡美喜 丹野幸 子 西郡京子 大平文子

彌網代嘉一 田口光男 吉田普 松崎昇 齋藤誠 郎 酒井等(二組)根本正久 西野見 谷島浩治 山崎 鈴木勇夫 高木賢司 瀧口 都三 志賀照明 小池丈夫 (進歩)橋田國雄 鈴木茂 鈴木榮一(三組)田中千代子 矢代翠子 多田井操 小野 寺美子 佐分和子 山田幸 子 木田ツヤ子 新妻好子 (進歩)國井太美子 花澤ミ ヤ 菊地久枝(四組)小野朝 岡田米子 鈴木清子 關内 瑞子 新妻キク子 鈴木和 子(進歩)川島扶美子 馬目 サキ子 篠原ツヤ ▼尋三(一組)井上通 本阿 彌博 吉田正治 加美山精 三 小泉武夫 清野賢昇 芳賀武重 市毛敏(進歩)高 尾光之 鶴山利雄 馬目英 雄(二組)金成俊男 福本寅 雄 根本正真 根井一 小 松茂正 三井慎一郎 館内 甫 古市真三(進歩)松本光 子 殿塚輝男 福本武雄 (三組)佐久間雪子 稻沼高 子 渡邊津由子 丹野トヨ 伊藤禮子 村田淑子 眞柄 美代子 遠藤千代子(進歩) 遠藤ふみ 相澤キヨ子 鳴 原仁子(四組)小宅スミ 永 山智子 多丸マツ子 志賀 タカ子 荒木顯子 青木綾 子 中西カネ 古川エツ (進歩)堀内昭恵 齊藤ケイ 木下キヨ

【三面へ續く】

鈴木代議士を誣める

全然ウソの陳情

佐藤萬太郎を誣告で告訴

背後關係注目さる

石城郡鹿島村大字松久須根佐藤萬太郎(七)は去る十六日選舉違反の容疑者として平署に召喚取調べを受けた際、總選舉直前の去月十七日平署に召喚取調べを受けた際、町字田町の鈴木辰三郎氏選舉事務所から金十圓を收受したと重大な自供をなした。この當局は俄然色め立ち鈴木派の選舉事務局長白井菊造外關係者を取調べた處根も葉もない全然の嘘で當の萬太郎も萬八の出鱈目を自供した旨申立てた。め事件は明白となつたが若し萬太郎

正當防衛を斥け

傷害 致死で 斷罪

幸太郎に三年求刑

當時内郷村宮字代六九居住田村郡大越村生れ日雇稼前科七犯吉川幸太郎(四)が泥酔兇器を持つ男を退げんとして力が餘り相手を撲殺してつた傷害致死事件は去月十五日平支部で第一回公判開廷し七日實地檢證を行ひ格闘の現場と経緯に關し詳細取調を行ひ兇行が果して殺意を否認して居るが實

地檢證其他より正當防衛でないこと明らかである」と懲役三年を求刑千葉辯護士の堂々たる無罪論あり正午

尋ねる女房は

派出所に潜入

平署の捜査で發見

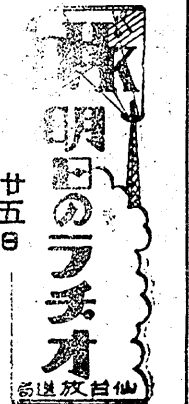
平町紺屋町上原家政婦派出所の派出所東京市葛飾郡小谷野町星野リン(四)は鈴木トヨと偽名して平町灘波醫師方で働いて居たが同人は昨年六月十二日東京に夫國廣(三)を殺して家出して働いて居たが最近平署に夫から捜査願が出たので判明

陸軍機顛覆す

今朝植田附近で

所澤偵察一〇四號 操縦將校は無事

今廿四日朝九時頃植田町宇岩間海岸上空で所澤飛行學校の丹羽小尉が操縦する偵察機一〇四號は機關に故障を生じ同海岸に不時着陸し海岸砂地を滑走中地盤が軟弱だつた爲め機体はモンドリ打つて顛覆し機關を大破したが操縦者は奇蹟的にも無事であつた。この事故で飛行不能に陥つたので機体は解体輸送することになつた



廿五日

今夜は北西の風 曇り明日は晴後 北西の風薄曇り

後九、三〇時報 ニュース 明日の話 番組豫告 明日の部

前七、〇一 英語講座(終) 前七、三〇 朝の修養「三教指歸」終 吉祥真雄 前九、〇〇 家庭メモ 前一〇、三〇 母の講座 家庭に於ける子供の指導 「小學校を卒へて就職する女兒」清水福市 後〇、〇五 映畫主題歌

俵十錢安

さのう共販

昨報平農倉庫の共同販賣は昨廿三日午後行はれ千六百六十三俵を入札に付した結果四等建値最高は大野の十一圓三十一錢、最低は植田の十一圓二十一錢で前回に比し十錢の安値であつたが入荷多數の爲らしいと

街の探偵・主人公

賊を擱んで表彰さる

内郷村大字御厩字上宿一三木質宿山井武次(五)さんは去る十五日自稱相馬郡中村町無職前科二犯鮮人李奉佑(三)が宿泊した際自轉車及びリヤカー等を携帶してゐるので不審に思ひ平署に密告した處奉は數件の窃盜犯人と判明したので二十三日縣刑事協會から表彰された

前借踏み

酌婦直ぐ御用

石城郡内郷村綴驛前料理店御門嘉平さん方抱へ酌婦伊達郡生れ渡邊ちよ(三)は酌婦を嫌つて二十二日前借二百五十圓を踏み倒して逃走郡山に入込んだ處を二十三日郡山署員に逮捕された

火力發電所 誘致に光明

松井局長來平

松井東北振興事務局長は廿

三日夕刻來平住吉屋旅館に一泊廿四日入山磐城古河の三炭礦を視察の上福島に向ふつたが

【二面よりの續】 佐藤方子 鈴木立子 西野 秀子(進歩)有我悦子 菊地 孝 小賀坂喜佐子 菊地 孝五(一組)松本英一 菊地 孝五(二組)橋本四郎 木村 康 澄川欣司 佐藤一 齊 田義郎(進歩)小林育男 小 野寺輝雄(二組)橋本克己 鈴木芳吉 竹村弘 渡邊七 郎 村田賢徳 野澤芳男 松崎佐二郎(進歩)晴山正美 長瀬孝雄(三組)五十嵐實枝 子 齊藤まさ子 飯澤キヨ 子 齊藤英子 三井敬子 野本輝子 加美山さと 木 村照子 伊達美代(進歩)鈴木 木スサ子 佐藤榮子 木幡 トミ子(四組)松崎幸子 勝 見米子 田中富美子 芳賀 ミサ子 今田美代子 高木 機恵子 平島勝榮 阿部愛 子 松崎喜江(進歩)國井清 子 白土フク 青山トヨ ▼尋六(男)寺門武彦 吉田 眞一 藤田信藏 猪狩侯文 牛澤芳男 小松伸太 小野 賢司 諸橋金彌 鈴木剛二 鈴木英雄 井上明 鈴木高 光(進歩)阿部武 荒木勝彌 宮原誠治(女組)野澤登記枝 永島佳子 影山サト子 鈴木 木文子 工藤甲子 林清子 山崎恒代 酒井富貴子 江 尻朝子 横山安子 荒川悦 子 高萩芳子(進歩)志賀綾 子 佐藤久代 高木英子



瓦解の謎

（流上）
（流下）
悟道軒圓玉（作）
丸尾至陽（書）

七九 踏込だ二人

青木彌太郎は誰ヶ袖の表二階にてお花を相手に酒を飲みながら長次郎の合圖を待つてゐた、内に四ツ半、今の午後十一時頃ですが便所に行くに紙に圓を書いて隅の方にはつてあつた、しめたと一旦座敷に引返して青「サアお花、奥へ踏み込めこれを貸してやるから」

短刀を出した

花「旦那あたしは何うするの」

青「それを引き抜いて客人のうしろに立つてゐろ、金は俺がよせるから、さア一緒に行き」

奥座敷の灯を目あてに二人は忍び寄つた、そんな事とは知らず頻に勝負をあらそつてゐる、廊下の障子をさらりとあけてツカ／＼と入つた彌太郎にお花、誰が来たかとの賭場の世話を

してゐた博徒がその人を見てびつくりした、彌太郎はズイとそれへ進みより青「面白いことをしてゐるな、俺を仲間に入れろ」

見なれない人が来たから札差連中は驚いた、青「よい慰みをいたし居るナ、この仲間に入れてく

な、俺を仲間に入れろ」

しかし俺の金は小判や小粒ぢやアねえ、銀座常是といふ刻印はねえが水心子といふ銘のある鐵だ、よく見ろ」

賭場の世話をしてゐるころつきは甚蔵に爲八だな」
甚「これは何うもよくお出でなさいました」
青「あまりよくもあるめえこゝにゐる奴には氣の毒だが場金は勿論ふところまで洗ふからそのついでゐろ、さア坂倉屋貴様から先に裸になれ、これ甚蔵手つたへ」
甚「これは困つたな、この世話をして日當を貰つてゐる俺たちが賭場あらしの手傳をするとは」
青「何をいふ、みんな裸にしてしらべろのだ一兩でもかくしてゐる奴があれば斬



甚「ですがね青木の殿様とわつちどもは役者がちがひますから何も仕方がございませぬ、オイ爲やてめえも背中ばかりまるくしてゐねえで旦那方を裸にしてくれ」
爲「伊勢屋さん、お氣の毒でございませうが着物をよるつて見せておくんないさいまし、何うぞみなさんはだかにおなんなすつて」
名々衣類を脱いでふるつて見せる
青「金入はこつちへ出せ、甚蔵爲八いくらあるか残らずしらべて見ろ」
甚「今勘定いたします」
青「ふるえるなしつかりしろ」
甚「オイ爲手傳つてくれ、旦那わつちが勘定したとろでは四百兩ばかりでございませうが」
青「そいつは少いのう、コレ爲貴様の方はいくある」
爲「何うも不思議で最初勘定した時は百五十兩二歩ばかりありましたが、念のためともう一度勘定すると百八十兩、何うも印刷の御用命は……」

花「一人でも動く脇腹に穴があくよ」
坂「これは大變、どうぞ御勘辨を」
青「汝たちは俺を知らぬか存じ居る筈だ、知つてゐるか」
坂「へエ、青木の殿様で」
青「ウーム、貴様は坂倉屋だな、それでは知つてゐるはずだ、去年金を借に行つたことがあるこれこれこの

つて了ふからさア早く裸にしろ」
甚「へエ、坂倉屋の旦那、まことにお氣の毒様ですが裸になつておくんないさいまし」
坂「何うもあきれたな、お前は平常何といつた、私等が来てゐる上はどんな者が來てもこの盆には指もさ、せんと威張つてゐるぢやねえか」

おかしきともう一度勘定すると百六十五兩」
青「馬鹿な奴だ、しつかりして勘定しろ」

通學服

新學期が近づきました。可愛らしい坊ちゃん 嬢ちゃんの通學服を豊富に取揃へて特價奉仕

- 黒 小 倉 1.20ヨリ
- " (特製) 2.30ヨリ
- 紺 セル 金 卸 服 3.60ヨリ
- 紺 セル K O 型 4.00ヨリ
- 第二・第三・制服 3.60ヨリ
- 紺 セル セーラー 2.60ヨリ
- 防 水 マント 1.20ヨリ
- " (裕) 1.65ヨリ

平・三 赤かや洋服店 電203

和漆器と家具は 和久井屋

市原醫院
平町・四町
電話一四四番

新入學用品陳列

健正ランドセル 通學用運動靴
學生ボ－シ 手提カバン
其他

◎堅牢本位に厳選せる優良品揃◎

ツルヤ
平四 電一四〇

干やなぎ

味美 鯉鹽から

當店特製

鯉節

魚問屋
商榮盛賀志
(三一電) 目丁四町平